

2012年3月修了予定者 修士論文着手条件審査について

No.	学籍番号	着手条件 合否	主査	副査1	副査2	修士論文題目	上段:主題 下段:副題
1	4307A034	合	小林	川口	宮崎	コミュニケーションのための「てくる・ていく」の文法記述	
2	4309A016	合	宮崎	川口	細川	JFL高校生にとっての日本語学習の意味 —オーストラリア・ヴィクトリア州の高校生を対象に—	
3	4309A301	合	川上	池上	細川	ことばの学びとしての「居場所」 —「移動する子ども」であった私の自己エスノグラフィーから—	
4	4310A001	合	川上	舘岡	戸田	JSLの子どもは日本語を学ぶ過程で自己と他者をどう認識していくか —支援者が見立てる「そのらしさ」と子どもが見出す「自分らしさ」—	
5	4310A002	合	池上	戸田	蒲谷	高校留学生の「ことばの学び」を支援する日本語教育とはどうあるべきか —支援の振り返りからの考察—	
6	4310A003	合	舘岡	小林	川口	新人日本語教師の成長とは何か —民間日本語学校に勤務する新人教師のストーリーから—	
7	4310A004	合	小林	細川	川口	日本語学習者は一つひとつの語をどのように自らのことばの体系の中に位置づけていくか —品詞に注目して—	
8	4310A006	合	舘岡	池上	佐久間	「書く」行為がもつ対話性 —日本語学習者の「書き直し」の背景を探る—	
9	4310A007	合	川上	池上	戸田	親であり実践者である「私」が捉える「移動する子ども」のことばの発達過程 —相互構築的なことばの力の育成を目指す日本語教育の意義—	
10	4310A008	合	佐久間	蒲谷	川口	日本語の雑談における反復表現の談話展開機能 —韓国人中級日本語学習者の使用傾向—	
11	4310A010	合	舘岡	細川	佐久間	テキストを読んで語り合う授業のエスノグラフィー —他者と読むプロセスにおける日本語の学習とは何か—	
12	4310A011	合	戸田	川口	吉岡	日本語学習者の発音不安について —中国語母語話者へのインタビューから見た意識の変容—	
13	4310A012	合	舘岡	川上	鈴木	「ことば」の生成が意味するもの —日本語学習者の「自己」をめぐるやりとりから—	
14	4310A013	合	小林	吉岡	戸田	学習者の自発的発話における媒介語使用とその役割 —授業参加とその後の展開に着目して—	
15	4310A015	合	池上	蒲谷	吉岡	小規模企業における職場内の日本語教育の場の存在意義 —難民的背景を持つ日本語非母語話者を雇用するネイルサロンにおける実践から—	
16	4310A016	合	川口	宮崎	鈴木	日本語教育におけるタンデムの可能性 —日独間遠隔タンデムに着目して—	
17	4310A017	合	池上	川上	鈴木	JSL児童の支援者の役割	
18	4310A018	合	小林	佐久間	池上	話者交代における参加者の行為 —非言語行動と言語項目の観点から—	
19	4310A019	合	細川	宮崎	蒲谷	対話活動における学びとはなにか —日本語教育の進むべき道を探る—	
20	4310A020	合	細川	舘岡	戸田	日本語教師養成は何を目指すか —コミュニティ生成プロセスの場としての養成の意義—	
21	4310A021	合	川口	宮崎	吉岡	パラグアイで求められる継承日本語教育の形 —E日本語学校を事例として—	
22	4310A022	合	川上	宮崎	池上	日本語支援の在り方をJSL高校生の意味づけから考える —ことばの力の育成と将来を視野に入れた教育実践から—	